

会計実務検定試験「管理会計」試験範囲表(案)

| 大分類 | 中分類 | 小分類 |
|----------------------|---|---|
| I. 管理会計の意義と目的 | 1. 管理会計の特徴 2. 管理会計の体系 3. 戦略的管理会計 | 管理会計の発展経緯 管理会計の目的 財務会計と管理会計 マネジメント・コントロール |
| II. 管理会計と原価計算 | 1. 管理会計と原価計算の関係 2. 管理会計に有用な原価情報 | 原価計算の構造と目的 変動費と固定費 管理可能費と管理不能費 |
| III. 直接原価計算 | 1. 直接原価計算の特徴 2. 全部原価計算による営業利益と直接原価計算による営業利益 3. 全部原価計算と直接原価計算の関係 4. 直接原価計算の発展 | 貢献利益アプローチによる損益計算 全部原価計算による損益計算書と直接原価計算による損益計算書 固定費調整 セグメント別の損益計算 |
| IV. 直接標準原価計算 | 1. 直接標準原価計算の意義 2. 直接標準原価計算における予算・実績差異分析 | 直接原価標準の設定 直接標準原価計算における差異分析 直接標準原価計算による損益計算書 |
| V. 短期利益計画と原価予測 | 1. 利益予測の手法 2. 固定費・変動費の分解方法 | 原価予測 原価分解 費目別精査法 高低点法 スキッターグラフ法 最小自乗法 |
| VI. CVP分析と損益分岐点 | 1. CVP分析を使った利益の予測 | 短期利益計画におけるCVP分析の役割 損益分岐点と利益図表 損益分岐点販売量と損益分岐点売上高の計算 安全余裕率 目標利益の達成に必要な売上高の計算 |
| VII. 感度分析 | 1. CVPの感度分析 | 感度分析の意義 感度分析の進め方 |
| VIII. 最適セールス・ミックスの決定 | 1. 最適セールス・ミックスと利益の最大化 | 制約条件が一つの場合の最適セールス・ミックスの決定 制約条件が複数の場合の最適セールス・ミックス線形計画法 |
| IX. 企業予算の編成 | 1. 予算管理の目的 2. 予算の種類と体系 3. 予算の編成 | 予算編成と予算統制 企業予算の体系と種類 予算期間と予算管理の支援部門 企業予算の編成プロセス 損益予算の編成 財務予算の編成 見積損益計算書と見積貸借対照表 |
| X. 予算統制 | 1. 予算による統制の意義 2. 予算による統制の手続き | 予算統制の意義 予算実績差異分析 資金運用表の利用 予算報告書の作成と利用 予算統制のタイミング |
| XI. 経営意思決定の意義とタイプ | 1. 意思決定プロセスと原価 | 経営意思決定の意義 経営意思決定のタイプ |
| XII. 業務的意思決定 | 1. 関連原価分析 2. 差額原価・収益分析を用いた意思決定計算手法 | 関連原価と無関連原価 関連原価分析の特徴 代替案の評価 関連原価分析の留意点 |
| XIII. 構造的(戦略的)意思決定 | 1. 設備投資の経済性計算 2. 投資案の種類 3. 設備投資の経済計算方法 ・時間価値を考慮しない方法 ・時間価値を考慮する方法 | 設備投資の経済性計算の意義 設備投資のタイプ 原価比較法, 回収期間法, 会計的投資利益法 加重平均資本コスト, 正味現在価値法, 内部利益法 |
| XIV. 活動基準原価計算 | 1. ABCの基本的な考え方 2. 活動基準原価管理 | 管理会計の発展経緯 ABCの基本構造 ABMの活用 |
| XV. 品質原価計算 | 1. 品質原価計算の意義 2. 品質原価計算の目的 | 予防原価, 評価原価, 内部失敗原価, 外部失敗原価 品質原価報告書 品質原価の分析 |
| XVI. ライフサイクル・コストニング | 1. ライフサイクル・コストニングの基本的な考え方 | ライフサイクル・コストニングの意義 ライフサイクル・コストニングのステップ 製品のライフサイクル・コストニング |